

DA
404
386
(H)

寄	贈
金	平成
昌男氏	年
	月
	日

経済発展と労働市場構造

—— 韓国の経験と開発途上国 ——

筑波大学 大学院 博士課程

社会科学部 経済学専攻

金 昌 男

Kim Chang Nam

89001578

謝 辞

振り返ってみると、私が筑波大学に入学してから、もう6年になる。私は、過去6年間、多くの諸先生方や良き学友に恵まれ、留学生としてのハンデギャプを感じることなく、充実した留学生活を送ることができた。地域研究研究科修士課程の時代から一貫してご指導を頂いている渡辺利夫先生には、学問の恩師であると同時に、人生の先輩として、多くのことを学んだ。私の研究分野における先生の影響の大きさははかりしれない。先生に厚くお礼申しあげる。

この論文の作成に当たって、指導教官である渡辺利夫先生は勿論、社会科学系の長尾昭哉先生、工藤和久先生、酒井泰弘先生、天野昌功先生ならびに社会工学系の久保雄志先生には、格別のご指導を頂いた。とくにご多忙の中多くの時間をさき、この論文のすべてを克明に検討され、多くの貴重な御教示を下された工藤、久保両先生の恩恵を忘れることはできない。さらに、社会科学系の小林弥六先生をはじめとする経済学専攻の諸先生方からも、ご指導ならびに有益なコメントを頂いた。以上の諸先生方のご指導がなければ、至らない私がこの論文を完成させることはできなかった。とくに記してお礼申しあげたい。

また、この論文の作成過程において、筑波大学社会科学研究所の深浦厚之氏をはじめとする院生諸兄ならびに畏友梶原弘和氏（嘉悦女子短期大学）と郭賢泰氏（東京大学経済学部博士課程）からも幾多の示唆を受けた。心から感謝申しあげる。

さらに、私の研究期間を通じて、アジア経済研究所、国際開発センターのスタッフには、データの検索や処理の面で多くの助力をいただいた。また、アジア経済研究所の助成によって、1984年11月には東南アジア調査旅行を試みるという機会にも恵まれた。アジア政経学会では何度か報告する機会を得たが、そうした機会に多くのすぐれた諸先生からコメントを頂いたことによって、私がどんなに励まされ、啓発されたか知れない。

長年二つの国に離れて生活していながら、いつも激励してくれた家族の労をねぎらいたい。多くの方のご指導と助力によって、この論文を完成させることができた私の喜びを、最愛の子供たち 鉉 と 璉、に贈りたい。

1985年 嚴冬

金 昌 男

経済発展と労働市場構造

————— 韓国の経験と開発途上国 —————

目 次

第1部 二重経済発展論の理論構造

第1章 本稿の課題と要約	2
--------------	---

第2章 二重経済発展論の理論と現実

第1節 序	7
第2節 二重経済発展モデルの概要	9
第3節 モデルの現実的妥当性	45

第3章 労働移動と農業発展

第1節 序	60
第2節 農村都市間労働移動と失業	62
第3節 都市インフォーマル・セクター	68
第4節 農業の発展過程	74
第5節 外国貿易と二重経済	81

第2部 韓国の工業化・労働市場・農業発展

第4章 工業部門の雇用吸収力と労働移動

第1節 序	90
第2節 工業部門の雇用吸収力	93
第3節 工業化政策と技術選択	96
第4節 産業間労働移動	99
第5節 結論	106

第5章 労働市場構造の変容と零細企業

第1節 序	109
第2節 雇用構造と労働供給	113
第3節 農工兩部門の実質賃金率の長期的変化	127
第4節 零細企業の経済活動とサービス部門の賃金率	141
第5節 結論	153

第6章 農業発展の韓日比較

第1節 序	158
第2節 投入産出構造と要素価格の変化	160
第3節 生産性改善と農業の技術発展	168
第4節 農家所得の改善	176
第5節 結論	182

参考文献	186
------	-----

図表目録

第 2 章

【図】

第 1 図	農業部門の生産と分配	10
第 2 図	交易条件と実質賃金	13
第 3 図	工業部門の生産と賃金・雇用の決定メカニズム	18
第 4 図	技術進歩と労働需要	24
第 5 図	農工間労働移動と転換点	28
第 6 図	農業経済の成長経路	35
第 7 図	労働投入時間と農業生産	48
第 8 図	工業部門の労働需要の変化	55

第 3 章

【図】

第 1 図	農村都市間労働移動と都市失業	64
第 2 図	誘発的技術進歩	76
第 3 図	誘発的要素代替	78

第 4 章

【図】

第 1 図	農林漁業部門からの流出労働力 と工業賃金との関係図	104
-------	------------------------------	-----

【表】

第1表	加重雇用弾性値[Ewj]及び製造業部門就業シェア のGDPシェアに対する比率[EY]	94
第2表	アジア諸国の産業別就業増加構成比の推移	98
第3表	農林漁業部門からの流入労働力 の産業別配分比率の推計	102

第5章

【図】

第1図	地位別就業者構成比の変化	116
第2図	年齢グループ別労働力率(全国男女)	122
第3図	女子の年齢グループ別労働人口構成比の変化	124
第4図	非経済活動人口に占める女子 の家事従業者比率の推移	125
第5図	農業部門の年雇実質賃金率の推移	129
第6図	農業女子実質賃金の男子実質賃金に対する比率	129
第7図	製造業平均と繊維部門の実質賃金指数の推移	135
第8図	農工相対賃金推移	138
第9図	製造業平均規模別相対賃金	138
第10図	繊維部門の規模別相対賃金	138
第11図	製造業の規模別労働生産性と資本労働比率との関係	146

【表】

第1表	産業別就業構造	114
第2表	産業別産出、資本、労働の変化率推移	114
第3表	地位別就業者構成比	116

第4表	人口および雇用成長率、失業率の推移	118
第5表	性別失業構造の変化	118
第6表	性別不完全就業率の推移	118
第7表	農業部門の年雇実質賃金率	131
第8表	製造業部門の労働生産性と実質賃金率の成長率	136
第9表	製造業の規模別経済指標の変化率	148
第10表	特定期間における労働生産性 と資本労働比率の年平均増加率	148
第11表	サービス部門の一日当たり実質賃金率の推移	151

第 6 章

【図】

第1図	農業の産出指標（付加価値ベース）	161
第2図	要素比率	164
第3図	相対要素価格	166
第4図	要素生産性	169
第5図	韓国農業の生産性	172
第6図	日本〔J〕と韓国〔K〕の農業機械普及台数の推移	174
第7図	農家一戸当たりの総収入指数	177
第8図	農家のエンゲル係数の推移	178

【表】

第1表	農業の産出と投入変化指標	162
第2表	規模別農家の年平均家計余剰比率	180